



自分自身を成長させる2学期に

校長 田口 利一

2学期が始まりました。

2学期には、運動会、いいじっこ発表会、持久走大会など仲間と協力したり、記録に挑戦したりする行事が多くあります。また、今年は10月末に研究発表会があり、市内の多くの先生方が国語の授業参観に来られます。

校歌の3番の歌詞にも出てきますが、『心を磨き 身を鍛える』2学期です。よりよい自分、仲間、学校をめざして、何事にも果敢に挑戦してほしいと願っています。



さて、話は変わりますが、私たちは、毎日、いろんな場面で『判断』をしながら生活をしています。

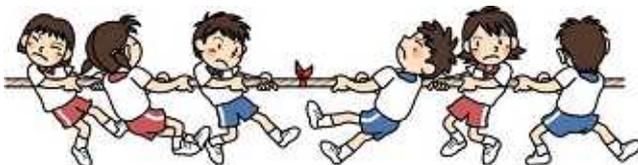
「好きだからやる。きらいだからやらない。」

「やりたくないけど、これからの自分にとって必要なこと。頑張ってみよう。」

などと、その『判断』の基準は人それぞれですが、何か物事を決めたり、行動したりするとき、『自分を成長させるためには』という視点が必要だと思っています。

「よし、がんばるぞ。」と意気揚々と取り組んでも、うまくいかないという壁にぶつかることがあります。そこで「あきらめる」か「あきらめないか」を判断することになります。壁にぶつかったということは自分を高めようと挑戦している証ですから、「将来の自分のために」「自分自身の成長のために」あきらめないでもう少し頑張ってみるとい判断も大事だと思います。そしてその壁を乗り越えると、達成感が自分の未来を大きく広げていきます。また、うまくいなくても、一生懸命考えたり、行動に移したりしたことは決してムダにはなりません。子どもたちには、こうした経験を多くさせたいと思っています。

お子さんが、自分のめあてに向かって頑張っている時は、見守り、そしてその努力をほめます。壁にぶつかっているなと感じたときは、話をよく聞いて、「^{あい}しなさい。」という指示ではなく、「私は、こう思うよ。」という I (愛) メッセージを伝えるとよいと思います。そして、子ども自身が自分の将来を考えて、できること・したいことを決めるようにします。また家族に協力してほしいことも聞いておくとよいと思います。自分で決めたことをやりきれるようにまわりの人が支えていくことで、いろんな壁にぶつかっても乗り越えることができるようになっていくと思います。



2学期は大勢の人に参観してもらうことが多くなります。そうした場でも堂々と躍動できるように、子どもたちの心に意欲と自信を育てていきます。ますますのご支援・ご協力をお願いします。

< 8月の活動から > 環境整備作業



保護者、各地区協力者、児童、学校職員が参加して、PTA環境整備作業を行いました。

今年、大人が学校敷地周りの草刈りと教室の窓ふき作業を行い、児童はグラウンドの草引き作業を行いました。1時間の作業でしたが、生い茂った雑草がきれいに刈られ、窓もピカピカになりました。

児童は、グラウンドの雑草を一本一本取る作業を頑張りました。暑い中、自分たちも一感緒に作業すること、親や地域の方への感謝の心や愛校心を持つことができました。めしなく、夏休み中に頑張った泳ぎの成果を確認し、すての検定を行いました。他の子の泳ぎを一保護者にも、泳ぎを見てもらおうと、普段の練習以上の泳ぎをできた児童が多くいました。春から世話をして収穫したスイカを食べました。保護者の方と一緒に、「甘い!」「おいしい!」と言いながら、沢山食べるこことができました。保護者や地域の方といろいろな体験ができた、夏休み中の休日でした。

夏休み作品展



夏休みに一人ひとりが頑張って取り組んできた、研究や作品を体育館に展示しました。

子どもたちは互いに作品等を見合っって仲間の作品のよさを感じたり、来年の参考にすることができました。また、保護者や地域の方にも作品展を見て頂くことができました。

第2回命を守る訓練



大地震や地震後に発生した火災から身を守ることを想定した「命を守る訓練」を行いました。訓練では地震時に机の下に入り避難することができました。

また、恵那消防本部の職員2名にお越し頂き、消火器を使っての消火や煙の充満した部屋を移動する体験をさせて頂きました。この経験を生かし、非常時には自分の命は自分で守るという意識を持てるように指導していきます。

表彰

大地の子どもたち展
佳作

(昨年の陶芸教室で制作した作品を出品しました。)

9・10月の予定

< 9月 >

- 1日(金)陶芸教室
- 4日(月)一輪車教室
- 7日(木)社会見学
- 30日(土)こども園・小学校合同運動会

< 10月 >

- 11日(水)3校(飯地・中野方・恵那北)交流会(3・4年生)
- 17日(火)午前授業、給食なし(職員研究会参加のため)
- 30日(月)スクールカウンセラー来校
- 31日(火)市指定研究発表会

